

2026年度 学校法人北白川学園

山の学校のクラスご紹介



4月からの新規開講クラス

◎…対面・オンライン、○…オンラインのみ、●…対面のみ

- ◎ 『ラテン語初級文法 A』 土曜 10:30-11:50 (堀江卓弘)
 - 『ラテン語初歩 (改訂版)』 (田中利光/岩波書店)

2学期 (全24回) の授業で、ラテン語の文法を1から学びます。
2026年11月に終わる予定です。
- 『ラテン語初級講読 A』 土曜 12:20-13:40 (山下大吾)
 - キケロー『友情について』

「友人はいわば第二の自己」などの名文を、ぜひ原文で。
- 『ギリシャ語初級文法』 火曜 20:40-22:00 (山下大吾)
 - 『ギリシア語入門 新装版』 (田中美知太郎・松平千秋/岩波書店)

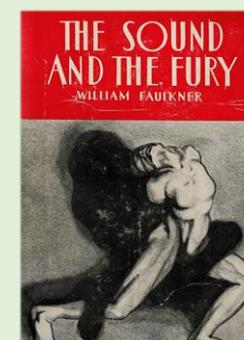
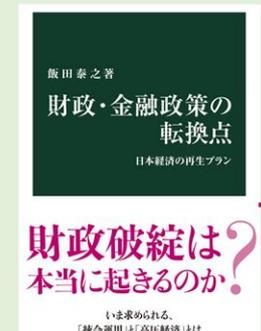
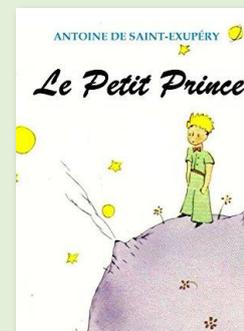
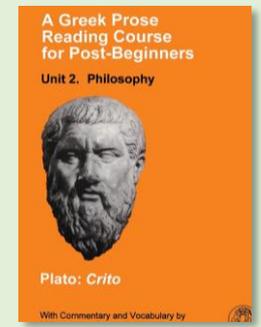
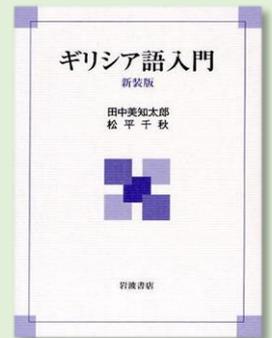
1年間 (全36回) の授業で、古典ギリシャ語の文法を1から学びます。
2027年3月に終わる予定です。
- 『ギリシャ語初級講読 B』 木曜 20:10-21:30 (大見山貴宏)
 - プラトーン『クリトーン』
 - 田中秀央訳注『プラトーン クリトーン』 (大学書林) など
- 『西洋古典を読む』 水曜 18:40-20:00 (山下大吾)
 - 『アエネーイス』 (ウェルギリウス、岡道男・高橋宏幸訳/西洋古典叢書)
- 『ドイツ語入門』 水曜 20:10-21:30 (林祐一郎)
 - 『読むためのドイツ語文法』 (郁文堂、2013年)

約1年かけて学びます。2027年3月に終わる予定です。
- 『フランス語講読』 土曜 13:00-14:20 (谷田利文)
 - Saint-Exupéry, *Le Petit Prince* (サン・テグジュペリ『星の王子さま』)

冒頭から読むチャンスです。ご参加をお待ちしています。
- 『経済』 日曜 10:40-12:00 (谷田利文)
 - 『財政・金融政策の転換点—日本経済の再生プラン』 (飯田泰之/中公新書)

「高圧経済」や、健全な国家財政のあり方について学びます。
- 『英語講読 B』 土曜 20:10-21:30 (楠元淳平)
 - フォークナー『響きと怒り』他 英語がある程度読める人にオススメです。
- 『歴史を読む』 (小学4~6年生) 木曜 17:30-18:30 (澤田 權)
 - 『現代語訳 平家物語 (下)』 (尾崎士郎/岩波現代文庫)

教科書に書かれた歴史から一歩踏み込んで、歴史の「考え方」を学びます。

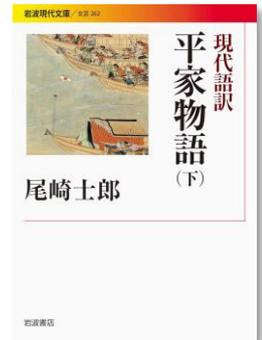


小学生クラス

『歴史を読む』 木曜 17:30-18:30（澤田 権） 対象：小学4～6年

生成AIの発達で考えなくても答えが出てくる時代になりました。簡単に答えにたどり着けるのはいいことかもしれませんが、同時に私たちの考える力を削いでしまいます。どんな時代でも変わらず、考える力は人間の基盤であり、最大の武器です。このクラスはそんな考える力を伸ばす機会を提供していきます。

春学期のテキストは尾崎士郎の『現代語訳 平家物語』（岩波現代文庫）の下巻です。内容をじっくり読むことで、作品の特徴や私たちの歴史観に与えた役割を学ぶことができる一冊です。山の学校でお待ちしております。



『かず』

他人と比較せず、焦らず一問一問とじっくり向き合う力を養います。分かったときの喜びをもって次の問題に挑む姿勢、考えること自体を好きになってもらうためのクラスです。

- ・『かず2-3年』火曜 16:20-17:20（入角晃太郎）
- ・『かず4-6年』火曜 17:30-18:30（入角晃太郎）

『ことば』

あらゆる学びの基本となる、「ていねいに読むこと」を応援します。一冊の本を最後までじっくり読み通せば、たくさんのがわかります。その楽しさを実感

すれば、おのずと読むことが好きになるでしょう。ただし、新1年生は自分のことから取り組んでいただき、言葉の世界に親しめるよう導きます。

- ・『ことば1-2年』月曜 17:30-18:30（加藤千佳）
- ・『ことば3-4年』水曜 17:30-18:30（加藤千佳）
- ・『ことば5-6年』水曜 16:20-17:20（加藤千佳）



『かがい』 火曜 15:50-17:20（山岡佐野香）

絵画や立体作品の制作を通じて子供たちに色々な素材に触れてもらい、新しい発見や楽しさが感じられる様に進めていきます。こちらから提案するテーマだけでなく、子供たちが自身のテーマを見つければ、それを実現できるようにサポートしていきます。表現する事の面白さ、観察する事で見えてくる喜びを子供たちと共に味わっていきましょう。



『しぜん』



自然の中に身を置き、生き物たちや、自然の事物と向き合う時間を、クラスでは大切にしています。しぜんの中にいるたくさんの「先生」と出会い、その声を聞き、みんなで対話をしましょう。

- ・『しぜんA』月曜 15:50-17:20（澤田 権）
- ・『しぜんB』木曜 15:50-17:20（狩野 仁）

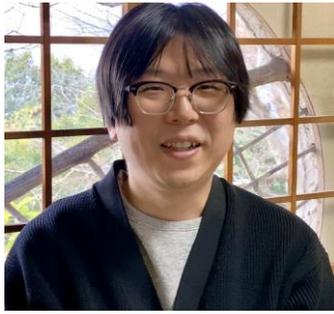


『ひねもす』 金曜 15:50-17:20（中本詩奈子・所 萌々果）

ひねもすは、レゴのように、紙パイプを組み立てる工作です。このクラスの目指すところは、「あるから作る」ではなく、「ないから作る」です。改良するところがどんどん見つかる楽しみを、ぜひ。

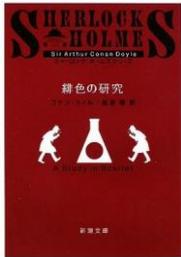


● 中学・高校生クラス



・『中高生の哲学』 月曜 18:40-20:00 (入角晃太郎^{いりやずみ})

このクラスでは、有名な哲学者の学説をただ学ぶのではなく、各々が「じかに」哲学する時間にしたいと思っています。哲学の文献を用いることはありますが、それに反論があれば自由にしてください（私に言わせれば、世の中の哲学書は大抵どこかに間違いを含んでいます）。また、「なぜ道徳に従わなければならないのか」といった、ふつうならばそれを問うこと自体不道徳とされるような問いも歓迎します。世界がいかにあるかということが、本当は気になって仕方がないのに、口を閉ざしている人もいるでしょう。そうした問いは大歓迎です。ぜひこのクラスで、自分だけで抱えてきた問いを一緒に探究してみませんか。



・『西洋の児童文学を読む A』 木曜 18:40-20:00 (狩野 仁)

□ 『緋色の研究』 (コナン・ドイル、延原謙訳/新潮社)

シャーロックホームズシリーズの第1弾です。やや難解な表現も見られますが、文学の森を逍遙していくような心持ちで、自分の知らない「？」に出会っていきましょう。

・『西洋の児童文学を読む B』 月曜 18:40-20:00 (加藤千佳)

□ 『デミアン』 (ヘルマン・ヘッセ、高橋健二訳/新潮社)

少年少女のバイブルとしても有名な本書は、本格的な西洋文学や哲学への入門としても最適な作品です。一篇の物語がもつ広がりや奥行きを感じながら、読み進めていきましょう。



・『西洋古典を読む』 水曜 18:40-20:00 (山下大吾) zoom のみ (新クラス)

□ 『アエネーイス』 (ウェルギリウス、岡道男・高橋宏幸訳/西洋古典叢書) を講読予定。

西洋文学の礎となった古典です。

・『れきし総合』 月曜 20:10-21:30 (吉川弘晃) zoom のみ 秋学期から開講

□ 『文明論之概略』 (福沢諭吉、岩波文庫)

(新クラス)



『中学英語』 木曜 18:40-20:00 (山下太郎・澤田権)

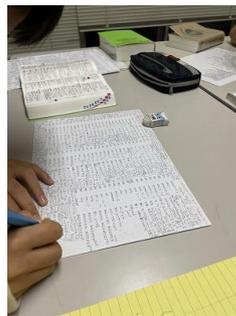
中学1年生から3年生まで、各人の状況に合わせてとり組みます。ひとり一人が「英語は好き、英語は得意」と言えるよう、個々の学びをていねいに応援します。

受講生が増え、今とてもホットなクラスです！

『高校英語』 木曜 18:40-20:00 (澤田権) (新クラス)

基本を常に意識しながら、語彙と文法を磨きます。

少人数クラスですので、各学校の内容に密着して取り組むことができます。



『英語特講』 (毎月1回)

山の学校代表・山下太郎

英語の基礎となる問題を用意し、時間内でひたすら解いてもらいます。また即座に採点し、コメントします。

中高生のみなさんは、山の学校会員に限らずご参加いただけます。詳しくはHPへ。→



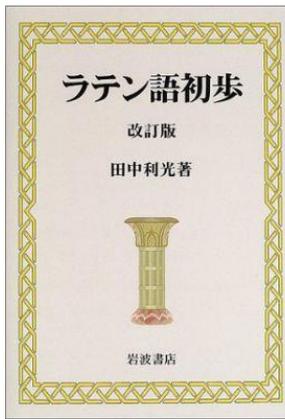
『中学数学』 火曜 18:40-20:00 (後藤孟嗣^{たけし})

学校で習ったことをあいまいにしないことが第一です。学校のペースが早いときは、戻って基礎を繰り返します。一問を大事に解くことで、十問を解ける力を養います。



『高校数学』 火曜 20:10-21:30 (後藤孟嗣) (新クラス)

だんだん複雑になる高校数学の内容を着実に扱います。わからないところをはっきりさせ、わかるところを増やします。



◎『ラテン語初級文法 A』 土曜 10:30-11:50 (堀江卓弘^{たかひろ})
(新クラス)

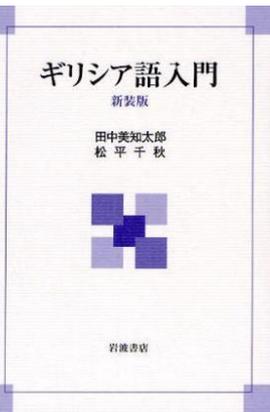
□『ラテン語初歩 (改訂版)』(田中利光/岩波書店)
2026年4月開始、同年11月に終了予定。
2学期分(全24回)の授業で、ラテン語の初歩を1から学びます。ラテン語は一般に難しい言語とみなされ途中で挫折する人が少なくありません。ですが、文法の要点を最小限にまとめた教科書で、先生の温かい励ましを受けながら平易な練習問題を解き続ければ、無理なく学び通すことができるでしょう。



○『ラテン語初級文法 B』 木曜 20:10-21:30 (山下大吾)

□『ラテン語初歩 (改訂版)』(田中利光/岩波書店) を学んでいます。

2026年1月開始、同年7~8月に終了予定。



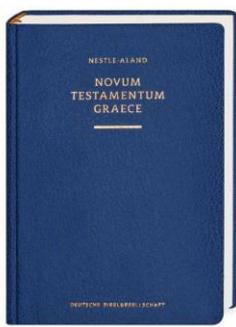
○『ギリシア語初級文法』 火曜 20:40-22:00 (山下大吾) (新クラス)

□『ギリシア語入門 新装版』(田中美知太郎・松平千秋/岩波書店)

1年間(全36回)の授業で、古典ギリシア語の文法を1から学びます。

2026年4月開始、2027年3月に終了予定。

受講生の方々には、授業内ではそれぞれの文法項目の確認や、希文和訳の練習問題に取り組んで頂きます。その過程で、例文などに隠された文学的、文化的背景や出典のみならず、古典ギリシア語とラテン語、並びに英語を始めとする他のヨーロッパ諸言語との関連にも言及致します。個々の疑問点などにも可能な限り対応する所存です。



○『聖書を読む』(原文講読) 月曜 20:10-21:30 (福田耕佑)

□ Deutsche Bibelgesellschaft, *Novum Testamentum Graece, Standard 28th edition, 2012*. など『新約聖書』を原文ギリシア語で講読します。初めはフィレモンの手紙から講読し、その後で他の書簡や福音書を読みすすめます。文法事項に関しましても適宜補足していきますので、講読に初挑戦だという方も安心して講読できるようにサポートさせていただきます。特に現代や中世のギリシア語と聖書ギリシア語の間の相互関係などについても踏み込んでお話しする予定です。

○『漢文入門』 火曜 20:10-21:30 (田尻健太)

□『世説新語』(テキストは講師が用意します)

□辞書『漢辞海』または『新字源』

『世説新語』という、三~四世紀頃の有名人の逸話集を読んでいます。『世説新語』は、ウィットに富み、ちょっとしたオチのある話でありながら、当時の世相をよくとらえているのが特徴です。なんだか難しそうに思えるかもしれませんが、訓読付きのテキストで、ゆっくり丁寧に読み進めておりますので、あまり心配なさらないでください。『世説新語』はどれも短い話で、内容は一回の授業で完結するので、学期途中からの参加も可能です。気になった方は、いつでも構いませんので、ぜひ体験受講に申し込んでみてください。





◎ 『ラテン語中級』 土曜 15:30-16:50 (広川直幸)

☐ W. Hering (ed.), *Bellum Gallicum* (カエサル『ガリア戦記』)

☐ 中山恒夫『標準ラテン文法』

初めてラテン語の原典講読をする人のためのクラスです。

『ガリア戦記』を読みながら、基礎的な文法の確認と復習をします。



○ 『ラテン語初級講読 A』 土曜 12:20-13:40 (山下大吾) (新クラス)

☐ キケロー『友情について』を講読します。

複数の版や註釈を参照しながら読み進めます。

「友人はいわば第二の自己」などの名文を、ぜひ原文で。



○ 『ラテン語初級講読 B』 水曜 20:10-21:30 (山下大吾)

☐ キケロー『義務について』を講読中。



● 『ラテン語上級 A』 金曜 20:10-21:30 (広川直幸)

☐ ホラーティウス『カルミナ』を講読中。



● 『ラテン語上級 B』 火曜 17:10-18:30 (広川直幸)

☐ プラウトゥス『プセウドルス』を講読中。



◎ 『ラテン語上級 C』 木曜 20:10-21:30 (広川直幸)

☐ プラウトゥス『カシナ』を講読中。

『ラテン語講習会』(毎月1回・zoom)

山の学校代表・山下太郎

文法クラスは拙著『しっかり学ぶ初級ラテン語』(ベレ出版)を教科書に使用し、独習のコツも含めて解説しています。講読のクラスは原文の一字一句の解説を施した資料(ワードファイル)を事前にお届けし、予習・復習の便をはかっています。また、授業内容は録画して後でご覧いただけるようにしています。

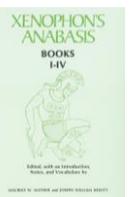
詳しくはHPからどうぞ。→



◎ 『ギリシャ語初級』 木曜 18:40-20:00 (広川直幸)

☐ C. W. E. Peckett & A. R. Munday, *Thrasymachus* (トラシュマコス)

トラシュマコス少年の冒険を題材にした愉快的物語を読みながら、文法中心ではなく帰納的に古典ギリシャ語を学んでいます。



◎ 『ギリシャ語中級』 月曜 17:10-18:30 (広川直幸)

☐ クセノポーン『アナバシス』を講読中。

「海だ、海だ(タラッタ・タラッタ)！」で有名な作品です。



◎ 『ギリシャ語初級講読 A』 土曜 10:30-11:50 (山下大吾)

☐ ホメーロス『イーリアス』を講読中。

第16歌に入ったばかりです。パトロクロスがヘクトルと相対する名場面を、ぜひ原文で。



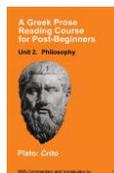
● 『ギリシャ語上級 A』 金曜 18:40-20:00 (広川直幸)

☐ ソポクレース『オイディプス王』を講読中。

● 『ギリシャ語上級 B』 月曜 18:40-20:00 (広川直幸)

☐ D. A. Campbell, *Greek Lyric Poetry* を講読中。

古代ギリシャの抒情詩を味わいます。



○ 『ギリシャ語初級講読 B』(新クラス)

木曜 20:10-21:30 (大見山貴宏)

☐ プラトーン『クリトーン』

☐ 田中秀央訳注『プラトーン クリトーン』

(大学書林) など



○『漢文講読Ⅰ』火曜 20:10-21:30 (仲村康太郎)

□『神異経』(テキストは講師が用意します)

『神異経』は地理的位置を基に古代中国の四方を区分けし、各地の神話的・伝説的存在や、奇怪な動物・植物といった、想像力を刺激する内容を記しています。

【新任講師の紹介】

仲村康太郎

京都大学大学院中国語学
中国文学研究室 博士課程



○『漢文講読Ⅱ』月曜 18:40-20:00 (田尻健太)

□朱熹『論語集注』(テキストは講師が用意します)

『論語』は長い時間を経て読まれ続けてきた書物で、多くの学者は、自分なりの『論語』の読み方を、「注釈」と呼ばれる形式で書き残してきました。この朱熹の『論語』注を、楽しみながら読解しましょう。



○『漢文講読Ⅲ』火曜 18:40-20:00 (斎藤 賢)

□『史記会注考証』(テキストは講師が用意します)



○『漢文講読Ⅳ』月曜 20:10-21:30 (田尻健太)

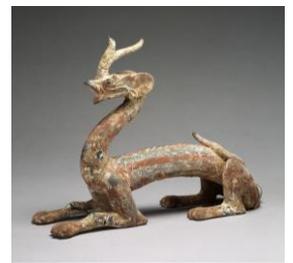
□朱熹『論語集注』(テキストは講師が用意します)

『大学』は朱子学によって「四書」として重視される書物の一つで、広く読み継がれてきた中国古典です。この講座でも、特に朱子の解釈を踏まえて読み進めることにします。



○『東洋古典を読む』水曜 18:40-20:00 (斎藤 賢)

□『大唐西域記』(テキストは講師が用意します)



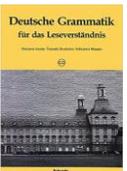
● 一般クラス 語学 (現代語) ◎…対面・オンライン、○…オンラインのみ、●…対面のみ



◎『イタリア語講読』火曜隔週 18:40-20:00 (柱本元彦)

□Giacomo Leopardi, *Opere e Morali* (テキストは講師が用意します)

隔週クラス。お仕事などで忙しい方にも無理なくご参加いただけます。録画視聴による受講も可能です。



○『ドイツ語初級』水曜 20:10-21:30 (林祐一郎)

□『読むためのドイツ語文法』(大川勇、恒木健太郎、石澤将人/郁文堂)で、約1年かけて学びます。2026年4月開始、2027年3月に終了予定です。



○『ドイツ語講読』水曜 21:40-23:00 (林祐一郎) (テキストは講師が用意します)

春学期 □Florenz, Karl, „Der Shintoismus der Japaner“, in : Edv. Lehmann u. a. (Hrsg.), *Die Orientalischen Religionen*, B. G. Teubner: Berlin und Leipzig 1906, S. 194-220.

秋・冬学期 □Haas, Hans, „Der Buddhismus der Japaner“, in : Edv. Lehmann u. a. (Hrsg.), *Die Orientalischen Religionen*, B. G. Teubner: Berlin und Leipzig 1906, S. 221-254.



◎『ロシア語入門』金曜 17:10-18:30 (山下大吾)

□Titus, J. (ed.) *Poetry reader for Russian learners*

文法事項や詩の規則などを確認しながら、受講生の興味に則した内容のテキストを読みます。



◎『ロシア語講読』金曜 14:10-15:30 (山下大吾)

□ゴーゴリ『検察官』を読みます。

2026年2月から読み始めたばかりです。ぜひこの機にご参加ください。



○『現代ギリシア語初級文法』水曜 18:40-20:00 (福田耕佑)

現代ギリシア語の口語(ディモティキ)を学びます。

□教科書: Δ. Δημήτρα, και Μ. Παπαχειμώνα, *Ελληνικά Τώρα, Νόστος, Αθήνα* (『今日のギリシア語』D. ディミトラ等)



○『フランス語入門 A』金曜 13:00-14:20 (谷田利文)

□ Saint-Exupéry, *Vol de nuit* (サン・テグジュペリ『夜間飛行』)を講読中。



○『フランス語入門 B』日曜 13:00-14:20 (谷田利文)

□『ゼロから始めるフランス語』(猪狩廣志/三修社)を学びます。

2026年4月再開、同年11月に終了予定です。



○『フランス語講読』土曜 13:00-14:20 (谷田利文) (新クラス)

□ Saint-Exupéry, *Le Petit Prince* (サン・テグジュペリ『星の王子さま』)を最初から読みます。



○『英語講読 A』(ディケンズを読む) 水曜 20:10-21:30 (坂本晃平)

□ Charles Dickens, *Sketches by Boz* (ディケンズ『ボズのスケッチ』)を講読中。



○『英語講読 B』(フォークナーを読む) 土曜 20:10-21:30 (楠元淳平) (新クラス)

□『響きと怒り』他

英語がある程度読める人にオススメです。

一般クラス ゼミ

◎…対面・オンライン、○…オンラインのみ、●…対面のみ



○『経済』日曜 10:40-12:00 (谷田利文) (新クラス)

① □『財政・金融政策の転換点——日本経済の再生プラン』(飯田泰之/中公新書)

② □『国家の債務を擁護する——公的債務の世界史』(アイケングリーンら、岡崎哲二監訳/日本経済新聞出版)

③ □『21世紀の財政政策低金利・高債務下の正しい経済戦略』(ブランシャール、田代毅訳/日本経済新聞出版)

健全な国家財政のあり方について学びます。シルバー民主主義の中で無力感を感じていた大学生や現役世代の中に、自分の1票が政策の実現を通して、自分の生活を変えようという実感が高まりつつあります。どの政策が妥当か、主権者として自分たちで考え判断していくため、一緒に学びましょう。(①のあと、②か③を読みます)



○『歴史論演習』火曜 18:40-20:00* (林祐一郎) (*時間帯の変更は応相談)

春学期 □『学生よ(新版)——1848年革命前夜の講義録——』(ジュール・ミシュレ、大野一道訳/藤原書店)

秋学期 □『歴史の流れ』(レオポルト・フォン・ランケ、村岡哲訳/筑摩書房)

冬学期 □『世界史的考察』(ヤーコプ・ブルクハルト、新井靖一訳/筑摩書房)

「いまここ」の現在から過去を意味づけて語り直すという我々人類の創造的な営為を、個別具体的な事件や人物にかんする批判的な読書を通じて回顧するという試みです。皆さんと一緒に考えていきましょう。



○『現代世界史』月曜 21:40-23:00 (吉川弘晃) **秋学期から再開**

□『パレスチナ／イスラエル論』(早尾貴紀／有志舎)

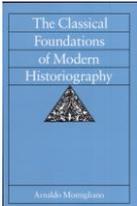
年度毎にテーマを設定し、理論的な道具立てと洞察を活かし、具体的な歴史的事例を検討していきます。



○『西洋近代思想の古典を読む』水曜 11:40-13:00 (谷田利文)

□『エミール』(ルソー、今野一雄訳／岩波文庫)を講読中。

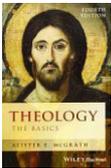
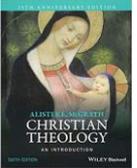
『エミール』は、教育論の古典であるだけでなく、政治哲学や宗教論など、ルソーの思想の集大成といえる著作です。ルソーと共に私たちが対峙している近代社会においていかに生きるべきかという問題について、考えたいと思います。



○『ギリシア・ローマの歴史を読む』木曜 18:40-20:00 (大野普希)

□ Arnaldo Momigliano, *The Classical Foundations of Modern Historiography* を講読中。

ギリシア・ローマの歴史に関する古典的な名著を英語で読み解くことを目標にしています。単に西洋古代の歴史を知るだけでなく、「歴史を書き解釈する」という、現代の私たちにも直接的なかかわりをもつ営みの意味について、改めて考え直します。



○『キリスト教思想を読む』火曜 20:10-21:30 (塩川礼佳) **秋学期から再開**

メインテキスト □ Alister McGrath, *Christian Theology: An Introduction, 6th Edition*

副読本 □ Alister McGrath, *Theology: The Basics* を講読中。



○『日本文化論を読む』木曜 21:30-22:50 (中島啓勝)

□『「甘え」の構造 [増補普及版]』(土居健郎／弘文堂)

事前に読んできた箇所についての感想や疑問点等を受講生にあげて頂き、それをもとに講師が解説を行い議論へと導いていくゼミ形式です。



○『現代社会を考える』金曜 14:30-15:50 (谷田利文)

□『現象学的人間論と看護』(ベナー、ルーバル、難波卓志訳／医学書院)を講読中。



○『英語で味わうシェイクスピア』

水曜 18:40-20:00 (坂本晃平)

□ Shakespeare, *Macbeth: Oxford School Shakespeare*

マクベスを講読中。



○『西洋古典を読む』水曜 18:40-20:00 (山下大吾) **(新クラス)**

□『アエネーイス』(ウェルギリウス、岡道男・高橋宏幸訳／西洋古典叢書)

●『ウェブプログラミング』開講応相談 (T. Fujita)

インターネットにおける情報発信にテーマを絞って、XHTML と CGI (Perl) を扱います。

**オンライン講座・アーカイブ視聴
お申込み受付中です!**

・『古典語のタベ』

「ギリシャ語」「ラテン語」「西洋文学」

・『学びのタベ』

「分析哲学」

「古代ギリシア史」

「歴史学」

「古典中国語」

「英詩」

「漢文」

「イタリア語」

詳細はホームページを
御覧くださいー



山の学校の最新情報はホームページをご覧ください。

<https://yama.kitashirakawa.jp/> (右記 QR コード)

学校法人北白川学園 山の学校 (北白川幼稚園)

〒606-8273

京都府京都市左京区北白川山ノ元町 41



・「お問い合わせ」フォームメール

https://yama.kitashirakawa.jp/?page_id=73 (下記 QR コード)

・ 電話：075-781-3215
月～金 13:30～21:30
(上記時間帯以外は留守番電話
で受け付けます)

